

海と空の旅をモチーフにした個性的なアートを館内に設置。

地下1階・1階の「水」のイメージにはじまり、そこから一気に36階 天空のフロントへ上がったときの感動がより一層増す様な演出を、ホテルへ入るところから受付までの流れの中で出来たらと考えました。



今村 知佐



水中に漂う

地下1階 エレベーター アプローチ



上昇の兆し

地下1階 エレベーターホール



波紋

1階 エレベーター アプローチ



揺らぐ水面の先へ

1階 エレベーターホール



天空の星

36階 フロント



History of the steel シャトルエレベーター カゴ内



Landscape

シャトルエレベーター カゴ内



光の行方

シャトルエレベーター カゴ内



彩光石

1階 エレベーター アプローチ



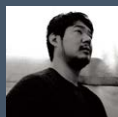
月波紋

1階 風除室

ホテル直通エレベータの中に光と風を取り込む欄間のような作品を制作しました。作品は3台あるエレベータそれぞれ異なり、豊洲の「街の光」「空と海」「歴史(過去～未来)」をテーマにしています。

このホテルではエレベータの移動さえも楽しい時間・記憶となるでしょう。

中林 丈治



潮の満ち干や水の流れ、流木や貝殻、草花など、様々な自然の情景や季節や時間によって変わる海に映る空の色を思い浮かべ、その美しさを閉じ込めるようにしてこの作品を制作しました。脈々と流れる時間の経過や荘厳で不思議な力を持つ自然の表情を感じて頂ければと思います。

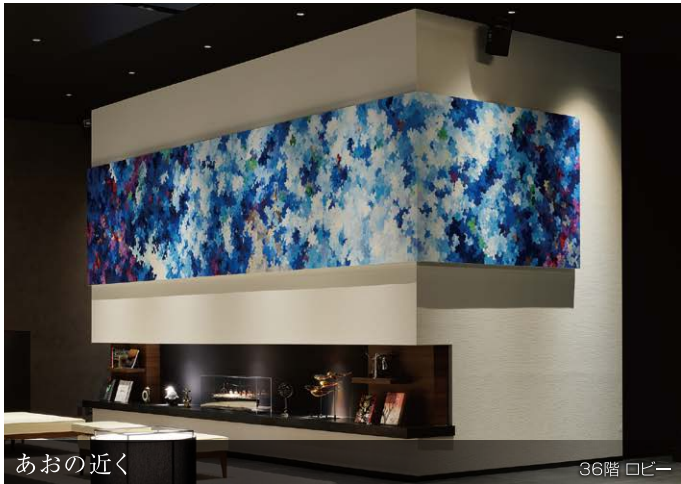
西川 慎



POINT

■ エントランスからホテルロビーに至るまで、海と空の旅をテーマに様々なアートを設置。

海と空の旅をモチーフにした個性的なアートを館内に設置。



あおの近く

36階 ロビー

遙か遠くまで見渡せる海と空の眺め。刻一刻と変遷する青の色彩が景色として一望できるのが、三井ガーデンホテル豊洲ベイサイドクロスのエントランスの特徴だと思います。さまざまな青い色彩を近くで感じられる空間で、さまざまな青を閉じ込めた絵画がそれらの景色を心に焼き付ける手助けになれば良いと考えています。

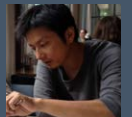
内海 聖史



渡り鳥

36階 ロビー テラス

ここから外の景色を眺めると遠い海の向こう側のことを思ってしまう。アラスカ湾から小笠原諸島まで渡るアホドリは北半球最大の海鳥で、翼を広げると2m30cmにもなります。本物と同じ大きさで作られたアホドリのオブジェは東京の南方、小笠原を向いて設置されています。大きな体で空を飛んでいる姿を想像してみてください。運が良ければ本物を見つけることが出来るかもしれません。



長谷川 仁



Air Line_モバイル_山吹偏光

36階 ローカルエレベーターホール

空中をドローイングするようなモバイル彫刻です。和紙をベースに、偏光フィルムやカーボンロッドといった現代的な素材を組み合わせ、鳥の羽根の様に、美しく、軽量で十分な強度を実現しています。空に浮遊する雲を見るように、気持ちをリラックスさせてくれることでしょう。

小松 宏誠

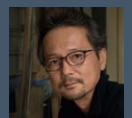


漂泊 2020 -月の帆-

36階 エレベーターホール

「漂泊」は、人生の様々な問いを形にする私の彫刻のテーマです。船はどこかに向かって出航し、眠るべき港に帰ります。何かを、或いは大切な誰かをのせて旅に出るのです。港であるこのホテルに滞在する方々にも触れて座っていただけるようにつくりました。月の光を受けて進む船で、皆様と一緒にできれば幸いです。

林 耕史



POINT

■ 36階ロビーの開放的な風景を際立たせるユニークなアートを設置。